



「着付けや化粧は全て自分でやります。また日常の生活でも姿勢や所作、話し方などを指導されるので、気を抜けません。でも、それは

「小さい頃から民謡、舞踊、三味線を習っていたので、それを生かせる仕事として、酒田舞娘の道を選びました」と、きっかけを語るゆず葉さん。昨年6月から、相馬樓を訪れた観光客などの前で踊りを披露しています。「酒田甚句、庄内おぼこなどの踊りの稽古では、体の角度や手足の運びまで細かくチェックされるので、最初は苦労しました」と、ゆず葉さんは振り返りますが、今は随分慣れたそうです。

## 新人の酒田舞娘として



# さかたの風

今月の人 Yuzuha  
ゆず葉さん(市内在住)  
酒田舞娘

## 美しく、元氣な酒田舞娘

全て、美しく見られるために必要なこと。結局は自分のためになるんです

「酒田甚句には、その場でくると横向きに回る振りもあるんですよ」「はんなり」と形容される、京都舞妓の上品な所作に対し、酒田舞娘の踊りには、元気で躍動的な動きが多いのが特徴です。

「祖父母の世代の方にも「きれい、すてき」と言ってもらえるとうれしいですね。お客さまの喜びが、一番のやりがいです」と目を細めるゆず葉さん。

「将来は先輩のように、踊りはもちろん、気配りも含めて何でもできる酒田舞娘になりたいです」と抱負も語ってくれました。

「相馬樓の素晴らしい雰囲気の中で働けることは幸せです。酒田舞娘の踊りは、約30曲にも及びます。何度も足を運んで、季節の踊りなどを楽しんでほしいですね」  
終始優しい笑顔で語るゆず葉さんのたたずまいに、舞娘坂に吹く艶やかな風を感じました。

## 筑前煮

### 【材料】4人分

- ・鶏もも肉……………120ㇺ
- ・酒……………小さじ1
- ・干しシイタケ……………4枚
- ・こんにやく……………80ㇺ
- ・レンコン……………60ㇺ
- ・ゴボウ……………40ㇺ
- ・ニンジン……………200ㇺ
- ・タケノコ(水煮)……………120ㇺ
- ・サヤエンドウ……………8枚
- ・サラダ油……………小さじ2
- ・だし汁……………2カップ  
(しいたけの戻し汁と水)
- ・砂糖……………小さじ4
- ・しょうゆ……………小さじ4
- ・みりん……………小さじ2
- ・赤唐辛子……………お好みで

### 【作りかた】

- ①鶏肉は一口大に切り、酒を振りかける。
- ②干しシイタケは水で戻し、石づきを取り半分のそぎ切りにする。
- ③こんにやくは一口大に手でちぎり、下ゆです。レンコン、ゴボウ、ニンジンは皮をむき、一口大の乱切りにする。タケノコも一口大に切る。
- ④鍋に油を熱して鶏肉を炒めて取り出す。③の具を炒め、②のシイタケ、鶏肉を鍋に戻し、だし汁を加えて煮る。
- ⑤あくを取り、Aを入れて煮含める。
- ⑥器に盛り、ゆでたサヤエンドウを飾る。



食生活改善推進員からの

火を止めてから食材に味がしみ込みます。じっくり味をしみ込ませてお召上がりください。

ワンポイント

## 酒田の味

44

昔ながらの酒田の味  
酒田市食生活改善推進員が紹介します

たくさんさんの根菜類が入り食物繊維もたっぷりの筑前煮。定番の料理ですが、ニンジンやレンコンを花型に飾り切りすると華やかな料理に変身します。おせち料理やお祝い事の料理の一品に加えてみてはいかがでしょうか。

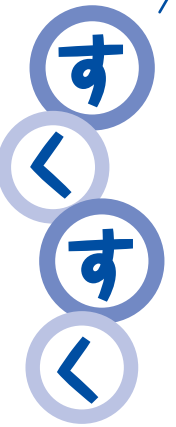
## フォトギャラリー

思い出のまち 21



## 山居倉庫の初荷

昭和39年1月、山居倉庫(当時は庄内経済連酒田倉庫)の初出荷の様子。米俵には「庄内米」と書かれた札(ひょうせん)が付けられ、当時高い食味評価を得ていた庄内米であることを証明しています。この日は、約700俵の米が首都圏に向けて出荷されました。



# 子育て講座



●お問い合わせ／市子育て支援課こども育成係 ☎26-5734

## ハイタッチの効用

この季節にしては暖かいある日「ヒロくん、お外で遊ぶうか？」とお母さんが誘いました。ヒロくんの返事は「嫌」です。「じゃ、お家で、ブロックで遊ぶ？」と聞いても、「嫌」という返事。このところヒロくんは何でも「嫌」。さすがのお母さんもお手上げです。

こんなとき、ちょっと試してみてください。

「お外で遊ぶ子、手挙げて！」ヒロくんは、元気に「ハイ！」と手を挙げました。すかさずお母さんは、笑顔でハイタッチしながら「ヒロくんは元気だね！じゃあ、お外に行こうか」

こんな調子で、「歯磨きする子、手挙げて！」「パジャマに着替える子、手挙げて！」と誘ってみて下さい。手を挙げる動作で弾みがつい

て、おまけに、お父さんやお母さんがニコッと笑顔で、挙げた手にハイタッチすると、案外やってくれることが多いようです。

もちろん、いつもこの手が効くわけではありません。でも、子どもの煮え切らない態度に手を焼いて「いったいどっちなの！」と声を荒げた「もう知らない。勝手にしなさい」と投げ出したりする前に、ちょっと試してみてください。大人でも子どもでも「しなさい」と命令されたり、一方的に指示されたりするのは嫌なものです。

併せて「早く着替えなさい！」よりも「着替えようね」や「ヒロくんが片付けると、ママ助かるな」の方が受け入れやすいものです。語尾に「ね」をつけるだけでも、語調はぐんと和らぎます。

東北公益文科大学教授  
國眼 眞理子 先生



●お問い合わせ／市介護保険課事業管理係 ☎26-5363

## 介護相談員の取り組み

介護相談員は、特別養護老人ホームや認知症グループホーム、地域密着型小規模多機能施設などを毎月訪問し、介護保険サービスの利用者から、要望や不満などの相談を受け、その内容をサービスを提供している事業者に伝え、問題の解消や改善を図っています。

利用者から直接の相談はなくても、利用者との会話の中に要望や不満に思っている点を見つけた場合、その内容をよく聞き、事業者に伝えることで、より良いサービスの提供につながります。内容が苦情や不満の場合は、それが単なる行き違いや誤解に基づくものな

のか、介護の質に関わるものなのかの事実確認を行った上で、事業者への助言や市への報告を行います。

### 介護相談員の報告事例から

「花がとても好きで、花があると気持ちがいい」という利用者の声を事業者へ伝えたところ「お部屋に花を生けてあげたら感謝された。そのことを家族にも伝えたと、毎回訪問時に花を生けてくれるようになった」と報告があり、利用者も「花、生けてもらったよ」と笑顔で話してくれました。

本市には10人の介護相談員がいます。介護相談員は、利用者のどんな小さな声にも耳を傾け、解決に向けた努力を重ねています。施設などに介護相談員が訪問した際は、気軽に相談してください。

